

農業委員会だより

第 59 号

令和元年 12 月
田原市農業委員会
☎23-3519 / FAX22-3817
ID1001917

婚活イベント「旬の渥美半島で 素敵な出会いを」開催しました

10月26日(土)、婚活イベントを開催しました。これは、渥美半島の次代を担う農業者の応援を目的に農業委員の有志で結成した、たはら農業委員婚活実行委員会が企画したもので、5回目の開催となりました。対象者は市内で農業をしている男性と市内外の一般女性です。

今回は、南神戸町の表浜ほうべの森で、ピザ作りに挑戦しました。

自己紹介では緊張気味だった参加者も、班ごとにピザ生地をこね始めるとみるみる打ち解け、笑顔がこぼれ出しました。釜にピザを投入するときは、自然と男性が女性を手助けするなど、互いを思いやっています。



●トッピングにも個性が光ります

昼食には、手作りのピザに加えて美味しいオードブルも並び、参加者は大変満足していました。

このイベントでは、毎回農業体験もしています。今年は、昼食の後、

農地利用最適化推進委員である石川昌男さんのバラ園にて、バラ摘み体験をしました。

最初にバラにまつわる話を聞き、実際に温室の中で何種類ものバラの姿や香りの違いを満喫した後、お土産



●バラ摘み体験の参加者

には豪華なブーケをいただきました。

キャンプ場

に戻り、海を見ながらのフリータイムの後に解散となりましたが、参加者たちは、まだまだ話し足りない様子で、この後の予定を相談しながら連れ立って会場を後にする方もいました。

この日の出会いがすてきな関係に発展するよう、委員一同心より願っています。



たはらで農業はじめました vol. 1

～新規就農者を紹介します～



今回から市内の新規就農者を紹介します。初回は神戸町の高橋大葵さんです。

高橋さんは、今年1月に新規就農し、約2万5000㎡の畑でキャベツやブロッコリーを栽培しています。畑の耕うんから出荷まで、基本的に全て一人で仕事をしています。

滋賀県出身の高橋さん、実家は農家ではありませんが、自衛隊入隊中、趣味であるサーフィンを楽しみながら農業を仕事にしたいと考えるようになり、市内の農業法人に就職しました。ここで約6年半働き、主にキャベツの栽培を任せられました。この間に農業の技術を身につけ、地域の方との縁で市内に畑を借りる話がまとまり、独立して農業を始めました。

高橋さんに農業の好きなところを聞くと、「天気など、自分ではどうにもならないことに左右されるシビアなところ」と答えてくれました。今後は経営面積を3万㎡まで広げ、質の良い農作物を作れるように、一日一日しっかり働いていきたいと話してくれました。